

Second Column



2023.5

輝く阿蘇 vol.83

写真家 長野良市



1957年南阿蘇村生まれ。青山学院大学、日本写真芸術専門学校卒業。同村を拠点に阿蘇を撮り続け、国内外の写真展に出展し、個展を開催している。写真集に「火と神々の棲む山 阿蘇・宇宙」「阿蘇」。

「障子張り」

季節の変化が激しい。桜の開花が3月中旬、程なく満開、そして散花。今やつつじも藤の花も落下寸前である。まだ、4月が終わっていない。5月連休明けから6月初旬の花の風景が、目の前に繰り広げられる。

植物は気象の変化に敏感だから、地球の温暖化を開花で見せしめる。でも、私の季節感は半世紀以上経験して得た感覚が基準、生活感にも表現されるので、調子は大きく狂ってしまう。4月は年度の始まりなので何やかにやと忙しいのだが、そのリズムを花の開花で確認してきた

はずなのだが。

区長としての年度末の報告づくりと年度初めの手続き。息子の法事と地震を思い出す行事は毎年恒例の行事となった。そして今年は孫娘の中学進学。日々の慶弔の対応が、まさに生きている証かもしれない。

熊本地震、そしてコロナ後に手がけてきた大きな事業は三つ。旧宅の留学生向けの住宅改造、キャンプ場開設、そして写真家としての事業再確認。どれも待ったなしの対応に迫られ、時間配分に早朝から箇条書きにしたメモを確認することから一日が始まっていく。その中で、南阿蘇の専門学校に通うミャンマーの女子学生の寮整備が、最優先になった。

寮整備を進めているのが、私が生まれ育った旧宅。父親が20歳の時に建てた家で、今年で約80年が経つ。熊本地震後の損壊判定は、一部損壊と判定された。ちなみに50%以上が全壊、40～50%未満が大規模半壊などと判断され、一部損壊は10%未満の損壊判定。私は

被害取材を優先、家は「しゃえんば食堂」として稼働させていたが、当時、誰も生活する者はなく、最終的に空家としての対応を行うしかなかった。

問題はこれからである。緻密にチェックすれば、梁ははずれ、屋根のゆがみは雨漏りを発生させ、コンクリートに走った地割れ、ゆがんだ柱の修正など、家としての機能が保たれている状況ではないことに気づくことになる。一部損壊判定は、行政の補助を得ることはできず、かといって、自力での解体作業をする能力もなく、最終的には金融機関からの資金で補修工事をするようになった。それから7年が経とうとしている。生産を生まない家の維持は、廃屋の状態が進行するだけだった。コロナ禍前、技能実習生の寮として稼働したこともあったが、今や次の段階に入った。専門学校から留学生の個室化を求められていた案件が、ようやく完成した。

80年の家のつくりは、田の字の部屋割りに襖とすりガラス入りの障子。床の



サー
SARのUWANTANA飯
第四十回
[めん棒]
久留米市日吉町15-6
TEL:0942-38-0788



SECONDの愛読書の皆様、お元気ですか?春の陽気をむかえ、G.Wがやって来ます。

今年はマスク着用も緩和され、海外もほぼすべての国で入国規制がなく渡航できるため、旅行をする人がコロナ前の状態に戻るのではと期待されています。インバウンドも含めて、通常のG.W以上の賑わいを取り戻すものと思われまます。ようやくコロナ以前の日常が一步步帰ってきてますね。

さて、今月のUWANTANA飯は、久留米市文化街にあります、めん棒のねぎ天うどんです。諸説あるみたいですが、わが福岡県はうどん発祥の地とか。沢山のうどん屋さんがある福岡は、なにげに、シンドン県なのでは?その中でも一押しなのが、「筑後うどん」です。香川県との知り合いにして、麺は讃岐が日本一、だしスープは、筑後うどんが日本一とまで言わしめた一品です。おすすめ筑後のうどん、めん棒のねぎ天うどんは、あまり他のお店でお見かけしない、メニューです。揚げたてで提供される熱々な白ネギの甘さと美味みがたまりません。たくさんの小葱の風味も相まって、まさに、それはUWANTANAの一品です。久留米の文化街にあるお店は、夜中まで営業され、うどん・蕎麦の他に、出汁がきいた、美味しいおでんもあり、おすすめです。夜中でも沢山のお客さんで賑わいを見せる、文化街のUWANTANA飯。ぜひ一度ご賞味あれ。

Dr.わーだーの養生記

vol.50

「クスリやサプリメントの飲み方」

こちいいん わだ とよふみ
心臓医院 院長 和田 豊郁



本能は鼻と口で食べ物かどうかを判断し、大丈夫でないものは吐き出します。クスリは食べ物ではなく100%理性で飲むとするものですが、食物と同じように味わうと本能が拒絶反応を起こすかもしれません。特に今の漢方薬は製法からしてインスタントコーヒーのようなものですから、直接舌の上に乗せるのは罰ゲームのようなものです。『良薬苦口』というのは煎じ薬の話、クスリは味わわないのが吉。ということでクスリは食物とは異なる飲み方が必要。まず乾燥しているクスリがのどに貼り付くのを予防するためにクスリを飲む前にひとくち以上、水か白湯を飲みます。粉薬は先に口に水を入れ、うがいをするように上を向いてから舌に触れないように口の奥に薬を入れて速やかに飲みます。こうすると舌に触れず歯の周りに残しません。錠剤やカプセルは逆に口の中で水や白湯と混ぜ合わせてから飲むのとどに貼り付かず飲み下せます。

クスリを飲むのがニガテではなくなりますように。

■ 心臓医院(こちいいん)
久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129
診療時間:(月～土) 9:00～12:00
(月火・木金) 19:00～22:00
休診日:日祝・盆・年末年始



もりさんぽ

vol.54「季節の移ろいは…」

ヒト・モノ・コト ツナグ研究所

商業活性 人材育成コンサルタント 久保 森住光



5月は、私の産まれた月。手前味噌になりますが、「爽やかで過ごしやすい!」と自負しておりました。なぜ、「おりました」と過去形なのかと言うと、「春バテ」が現代社会で問題となっているからです。「春バテ」とは、春季の寒暖差や環境変化によるストレスが、自律神経を乱し、「だるさ」や「イライラ」「やる気の減退」などを引き起こす症状の事です。

この春は、花粉や黄砂による被害が本当に顕著でした。ようやく解消かな?と思っております、このやっかいな「春バテ」の登場です。元気に働きたい!過ごしたい!との想いを「不調」が襲います。春に不調を感じる割合は高く、成人女性に多いとのデータもあるそうです。本当に困りものです。対処法として、①日々の運動 ②朝日を浴びる ③ゆっくりとした入浴 ④音楽やアロマでリラックスする時間を取る などが紹介されています。と、書いたところで「あれ…?」が頭の中に!

次第に、年齢を感じる今日この頃。身体も不調を訴えることも多くなりました。「タウンマネージャーはいつも元気ですね!」と、言われますが「仕事の疲れが翌日に残り、ぐったりする日もありました。しかし、また「過去形」です。それは私が、癒しドライヘッドスパ専門店「赤ずきん」に定期的にメンテナンスをお願いしているからです。久留米一番街商店街、旧「遊び道楽」を折れ、直ぐのビル5階にメンテナンスの場は用意されています。不調を整えるのもあるのですが、真から疲労困憊などを文字通り防いで頂いております。過日より、しゃれて(笑)美容室に通うのですが美容師さんから、「頭が柔らかいですね!どうされているのですか?」と問われました。プロが感じるとは!と驚きました。効果は高いようです。(効果については、私個人の感じですが)

私にとって、ゆったりと、まったりと、そしてほっこり出来る時間を過ごす中で、身体のメンテナンスを受けることが出来る場所が、「赤ずきん」なのです。私は、ドライヘッドスパと、アロマハンドケアの合わせ技で癒されております。移ろう季節。夏本番を前に、一度ご相談下さいませんか?

■ 癒しドライヘッドスパ専門店 赤ずきん
久留米市東町32-11 ロワール東町501
TEL.090-2587-2018



訪問診療も行います
8:30 から診療します

そめや歯科

TEL.46-2218

久留米市通町 4-11 <http://someya-dc.jp>

Cinema

詳しくは 同ページ
「プレゼントコーナー」をご覧ください

『ワイルド・スピード／ファイヤーブースト』

5月19日(金) 全国公開

シリーズ1作目の公開から22年も爆走を続け、ド派手なアクションでメガヒットシリーズへと成長した『ワイルド・スピード』最新作がついに完成。10作目となる本作ではドミニク(ヴィン・ディーゼル)をはじめとしたお馴染みの顔ぶれが再集結。また新キャストとして、ファミリーを次々と襲う史上最強の敵役に『アクアマン』のジェイソン・モモア、そしてオスカー女優のブリー・ラーソンが初参戦する。遂に“最終章”へと更なるブーストをかけたシリーズが、多くのサプライズを携えて再びスクリーンを駆け抜ける!

【問】T・ジョイ久留米 https://tjoy.jp/t-joy_kurume



©Universal Studios. All Rights Reserved.